

正誤表

日本画 表現と技法

武蔵野美術大学日本画学科研究室／編

● 2002年4月 初版1刷

p.72 図1 キャプション、p.138 中段・後ろから11行目

(誤) 「煙雲空濛図」

(正) 「煙雲空濛図」

p.135 2段目 13行目

(誤) 美術大学の日本画学科

(正) 美術学校の日本画科

p.135 4段目 後ろから8行目

(誤) 宣等

(正) 宣等

● 2004年4月 初版2刷

p.8 中段1行目 「、本来、絹本作品になされる裏彩色を施し」を削除する

● 2005年2月 初版3刷

p.29 上段 15行目

(誤) 右の作品は雲肌麻紙

(正) 右の作品は白麻紙

p.107 2段目 最終行

(誤) 二～三 cm

(正) 二～三 mm

p.107 4段目 7-10行目

(誤) 画面の縦側に…差をなくすためである。

(正) 絹に水分を与えると縦糸のほうが強く収縮するため、画面の縦側になる絵絹の耳に小刀で五 mm 程度、二 cm 間隔で切り目を入れる場合もある。